ごあいさつ

私の生家は明治初期、初代の半磁器洋食器の製造輸出業に始まり、
二代目以降から五代目の私に至るまで、志野の茶陶を探求することを生業としております。
私は若いころ、その定められた路線を進むことに反発を感じ、
せめてもと、釉薬を離れた「備前」への修業を決めました。
師である人間国宝山本陶秀氏には内弟子として直接指導を受け、
その五年間の教えの中で、強く私に染み入ったものは「土に拘る」ことでした。

岐阜県可児市大萱　ここは美濃桃山陶発祥の地です。
現在、この地に穴窯を築き、様々な土と向き合いながら、
「美濃桃山陶の本質」を模索しております。
現代に生きる私自身の感覚と積み重ねた技術、閃きをもって土と炎にぶつけ
作品を表現していければと思っております。

最後になりましたが、谷松谷戸田商店会長 戸田博様には長きにわたりご指導いただき、
心より感謝いたしております。
本展におきまして、戸田様のご厚意により桃山陶を数点参考展示させていただきます。
どうぞご高覧いただきますよう、よろしくお願い申しあげます。

樋口 雅之

2.　赤志野茶碗　径13.1×高さ10.2cm